

食品ロスを減らそう



浅小井農園株式会社

(近江八幡市)



HPはこちらから

取組内容

技術力向上と情報を武器に食品ロスが激減！

持続可能な農業×SDGs×浅小井農園

創業時に、県内初の食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる JGAP 認証を取得した弊社は、持続可能な農業を目指し、SDGs17の目標全てに取り組みながら「朝恋トマト」を栽培しています。

特に SDGs12番目の目標「つくる責任、つかう責任」への取り組みとして、創業当初多く発生していた割れトマトなどの規格外トマトの大量廃棄を減らすために、次のような努力をしています。

【栽培技術向上による割れトマトの減少】

トマトを栽培するハウスに、温度や湿度、CO<sub>2</sub>濃度などが設定した環境になるよう制御する統合環境制御システムを導入することなどで、失敗しない栽培管理に努めています。

【地域連携を通じた割れトマトの活用】

飲食店等と連携し、割れトマトを活用した商品を提供いただくことで、廃棄を削減しています。

立命館大学の学生団体とのコラボレーションで、割れトマトを絵の具として再利用する取組も実施しています。

【割れトマトの活用事例】



クラブハリエ  
スティックタイプの  
ピザトーストに活用  
(ラ・コリーナ近江八幡で販売中)



Rcafe at marina「朝恋トマトのカッパリーニ」  
「アヒージョ」(堅田マリーナ店で提供)



横浜天下鳥草津店「朝恋トマトの炭火串焼き」



割れトマトを絵の具に



菓子長「トマト大福」(甲賀市野田本店で販売)



浅小井農園入口

浅小井農園株式会社

住所: 〒523-0817 滋賀県近江八幡市浅小井町 2481

Tel: 0748-43-0550

Mail: tomato1@asagoi.com

HP: http://asagoi.com/

事業内容: 「朝恋トマト」の生産・販売

研修生の時分、梅雨明け前後の気温の急落により軽トラ2台分のトマトが廃棄される現実を何とかしたいと、栽培技術の研究と地域の他業種との連携をすすめた結果が今に至っています。現在はシーズン以外での廃棄はほぼゼロになりました。



代表取締役  
関澤 征史郎さん